



結婚・子育てに温かい社会へ

みなさんをご存知のように、日本の少子化の進行は深刻さを増しています。京都府も例外ではありません。京都府の平成26年の合計特殊出生率（15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの）は1.24で3年連続で全国ワースト2位となっています。（図1）

少子化の背景として、未婚化や晩婚化などがありますが、それについて国勢調査や人口動態調査のデータを見てみます。

京都府における25～29歳の未婚率は、平成22年において男女それぞれ全国3位、2位という結果が出ています。その中でも女性の未婚率が、昭和45年から平成22年まで上昇しています。（図2）

また、母の年齢別の出生数をみると、ここ25年間でみた場合、20歳代が大きく減少し、30歳代が増加しています。（図3）

未婚化・晩婚化には様々な要因が絡み合っていると思われます。将来家庭を持ち、子供を産み育てたいと望む方がその願いが叶えられる社会の実現を目指した、結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援と、教育、雇用問題など幅広い分野の施策と連携して、社会全体で取り組む必要があります。

図1 合計特殊出生率の推移

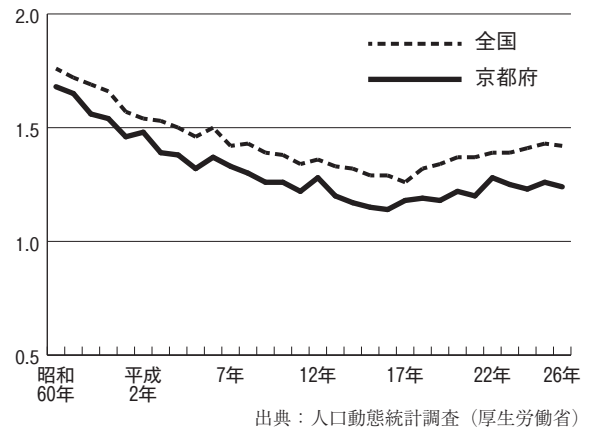


図3 京都府における母の年齢別出生数

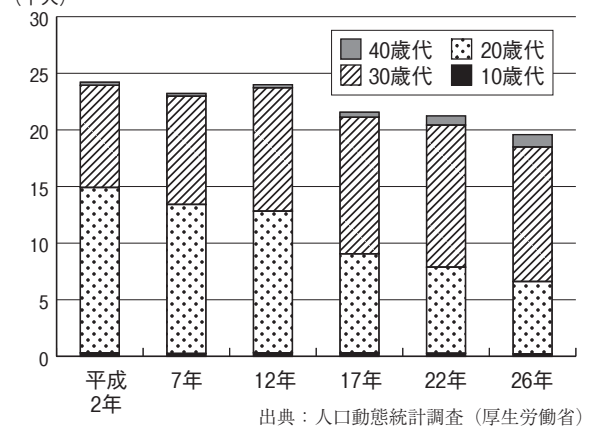


図2 京都府における25～29歳の男女別未婚率の推移

